

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	75	事業名	任意事業	担当部課	福祉部長寿課	
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち			決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—			会計区分	介護保険特別会計
	法定受託事務の有無	無			予算区分(款-項-目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画			3-2-2 任意事業費	
	事業開始の背景、経緯等	地域の実情に応じて、市町村の任意事業として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるための事業を行う。				
市民・民間事業者との連携協働の可能性	民間事業者とのみ協働可			(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 身体が虚弱等で調理等日常生活を営むのに支障がある65歳以上独居高齢者又は75歳以上のみの世帯を対象に、配食サービスにかかる費用の一部を負担する。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 主として市内在住の65歳以上の人				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者への配食サービスの提供により、安否確認及び栄養状態の維持・改善を図り、住み慣れた地域で安心して暮らせるようにする。				

コスト推移	項目	単位	区分	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)
	事業費(A)	千円	予算	18,023	15,945	19,418	20,018	19,749
			決算	17,524	16,522	17,444	16,834	
	人件費(B)	千円	決算	4,833	4,559	3,957	5,916	
	総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	22,357	21,081	21,401	22,750	
事業対象の数(D) (R3年度は想定数)	人		9,055	9,349	9,580	9,804	10,000	
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		2	2	2	2		

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)
	食の自立支援事業配食数	回	目標	38,600	38,600	46,920	47,650	48,200
			実績	37,938	42,023	45,031	44,998	
	(指標の設定根拠)	(数値目標の根拠) 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすため、安否確認や栄養管理を行う食の自立支援事業の配食回数が適切であるため。						
(前年から指標を変更した場合はその理由)	65歳以上の高齢者数の伸びを勘案して設定した。							
(前年までの指標)								

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 配食数は概ね増加傾向にあり、高齢者の食の自立支援に寄与している。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 食の自立支援事業の実施事業者が2社から4社に増え、利用者の選択肢が増えた。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 個々の状況に応じて利用可否の判断に迷う案件があるため、決定に至る利用基準の精査が求められる。

事業を構成する 事務事業①	事務事業①	食の自立支援事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
	(1) 【アクションプラン】 配食サービス利用者数[単年]	人	見込	220	235	250	265	280
			実績	225				
	(2) 配食数	回	見込	47,650	48,200	49,300	50,200	51,200
			実績	44,998				
	(3)		見込					
実績								
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> 令和2年度中に実施事業者を2件増やした。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する 事務事業②	事務事業②							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
	(3)		見込					
実績								
<備考:活動の概要(R2年度(2020))>							今後の方向性	

事業を構成する 事務事業③	事務事業③							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
	(3)		見込					
実績								
<備考:活動の概要(R2年度(2020))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 利用決定に至る基準を精査し、利用の適正化と利用決定の迅速化を図る。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 基本的には現状の枠組みを継続しながら、利用の適正化を図るとともに提携事業者を拡大していく。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・国や県の交付金の対象外となる部分については、市負担分が軽減されるよう検討を行ってください。 ・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・行政改革の重要課題事業に基づき、補助金、助成金の見直しに寄与できるよう取り組んでください。
内部意見への回答		